

に其の抄譯の出來たところは同書の内容を廣く世間に知らせるには却つて便利多いことであらう。(日本美術院發行、非賣品)

●南米美術裝飾圖集

島田貞彦著

三五會圖集の一として發刊せられたもので、二十九葉六十二圖の圖版から成り、周到な解説が附せられてゐる圖版はコロタイプ版であるが、内數葉は美麗な原色版のものもある。材料は主としてベスラー氏の「古代ベルーの美術」に發表せられた伯林博物館の藏品と京都帝國大學所藏のベルー土器に採つて選集したもので、序説として濱田耕作博士の筆になつたベルー考古學に就いての詳細な叙説がある。本圖集は從來我が國人士に餘り多く知られなかつた亞米利加考古學に關する興味と知識を开拓する好著たるを失はないであらう。(京都寺町夷川文華堂發行、定價三、五〇)(以上岩橋)

彙報

●讀史會

例會 五月二十六日午後六時より學生集會所に於て開

催出席者喜田教授、中村講師、富森學士、岩橋、井川、末岡、加藤、佐古、勝峰、中原、石川、三浦、宮崎の諸君にして劈頭幹事より中村講師就任祝賀新入會者歡迎の挨拶あり次で左の講演に移り十時散會せり。

一、元祿頃の大坂商人氣質と其生計狀態に關する實踐

方法論的考察(第二回)

佐古 慶三君

生計狀態の量的測定を試みる所以及其方法論第一次的計數材料の缺乏、第二次的計數材料の活用私見、その爲めの時代曲線の創定と横井博士幸田學士等の方法、人別改に關する統計學的吟味、幸田學士の三郷人口増減に關する説明と私見、三郷人口曲線と穢多人口曲線の相異と其原因等の諸項に就き、氏獨特の詳細なる説明ありき。

一、憑物 文學博士 喜田 貞吉君

變態心理精神病學は物憑即「憑かれたる者」を研究す吾

人は「悪く者」を研究せんすこれ昔の社會狀態等を知る上に重要なリミ冒頭せられ昔は人間が悪きたるが近頃は狐犬神等が主人に使はれて他人に悪くを普通ミす例外ミして飛驒の牛蒡種ミ曰はるゝ系統の人は人其物が悪クミ信ぜらる牛蒡種のある所は大抵白山神社を祀る白山は天狗の本場なり天狗は昔護法ミ言はる牛蒡は護法ならん天狗を狗賓ミ言ひ山林を伐る時に狗賓餅を供へて祀る事より考へ天狗は山人ならん狐ミ天狗は縁故深く紀に天狗を「アマツキツネ」ミ讀ます故に牛蒡種狐惡等は民族的に言へば大和の前鬼等ミ同様山人の子孫ならんミ結ばる。

例會 六月二十三日午後六時より學生集會所に於て開催出席者中村講師、牧、富森の諸學士岩橋、森下、中村井川、加藤、佐古、末岡、勝峰、石川、中原の諸君にして先づ歐米視察の途にあらるゝ三浦教授の書信を朗讀し次で左の講演あり十時散會せり。

一、中田博士に答へて日本總守護總地頭を論ず

文學士 牧 健二君
法學士

先づ本年二月より五月に到る法學論叢に於ける博士ミ

の論争の概要を(一)諸國守護補任の勅許(二)守護補任權の内容(三)文治守護職の性質及職務(四)關東の長ミ總守護職に分ち略述せられ次は博士が史料の眞實性ミ價値の吟味を忽せにしあらゆる史料を理論を偏重して綜合し史實を把握せられんミする非を指摘し個別的に批判し然る後調和綜合すべき事を主張せられ次で(一)文治の地頭職は官職に非ず(二)地頭の得分は反別五升なり(三)反別五升の兵糧米徴收を賴朝に許されたるは即總地頭職に補任せられし事なりミの諸項を駁論せらる。

一、足利尊氏の理想 文學士 中村 直勝君

先づ辻博士魚澄博士の尊氏觀を一言せられて後尊氏は國史上の大人物ミして賴朝信長秀吉家康ミ比肩すべき人にして其行爲に前後矛盾あれミ然も其中に一貫せる思想あり彼の私淑せる人物は賴朝にして、其理想は武家政治にありミし(一)建武式目を十七ヶ條ミす(二)賴朝に倣ひ圓城寺に鬘髪を納む(三)粉河寺縁起に賴朝ミ尊氏ミを比較し(四)源平交立の思想を信じたるため義貞を競争者ミし源氏の棟梁を以て自任す(五)神皇正統紀に彼が賴朝を

模したる事を記す。の五項を擧げて論證せられ後醍醐天皇に彼の理想の相違より心ならずも南北分立の止むなきに到り心中の煩悶を信仰により慰むる結ばる。

● 神宮皇學館史學會の成立

三重縣宇治山田市にある神宮皇學館に於ては、同館歴史科教官學生徒及び有志者によりて神宮皇學館史學會を組織し、毎月一回研究例會又は史蹟踏査を行ひ、毎年一回大會を開く事とし、兼ねて春秋二回會報を發行して史學研究の目的を達する事とされた。今回其會報第一號が發行されたに就て吾人は我國史學會のためにも、將た同會のためにも、其洋洋たる前途を祝福して、茲に其論文目次を擧げて置きたい。伊賀に於ける大神宮領について「大西源一」春日社時代祭に就きて「木村春太郎」「王朝時代史話」竹島寛齋宮寮の經濟一斑「阪本廣太郎」「吉野水分神社考」千田憲、「アイヌ民族に就きて」磯部精一「縣犬養宿禰橘三千代について」福田福一郎。

會 報

○ 寄贈交換圖書

Toung Pao XXI (通報)

Paul Pelliot

滿鮮地理歴史研究報告 第九

東京帝國大學文學部

日本史の研

三浦 周行

通論考古學

大 鐙 閣

大正七年度古蹟調査報告 第一、二冊

朝鮮總督府

日本文化史(古代、鎌倉、南北朝)

大 鐙 閣

日本文化史(鎌倉時代)

龍 肅

日本文化史(安土桃山時代)

花見 朔己

天心全集

日本美術院

ゾーフミ日本

齋藤 阿具

南米美術裝飾圖集

島田 貞彦

經濟思想の研究

中村 孝也

舊佐賀藩の農民土地制度

小野 武夫

舊手物語抄本

廣島尙古會

史學雜誌 三三ノ六、七、八、九、十

史 學 會

歷史地理 四〇ノ一、二、三、四

日本歷史地理學會

○退 會

國學院雜誌 二八ノ七、八、九、十

國學院大學

東 尙 胤、仁保 龜松、大坂 平作、島村孝三郎、

東洋哲學 三九ノ七、八、九、十、十一

東洋哲學

瀧野 貞吉、

經濟論叢 一五ノ一、二、三、四

經濟學會

○死 亡

人類學雜誌 三七ノ四、五、六、七、八

東京人類學會

安元 彦助、榊原 政職

法律及政治 一の二

明治大學會

龍谷大學論叢 二四四、二四五

龍谷大學論叢社

東洋學報 一二ノ二、三

東洋學會

史 學 一ノ四

三田史學會

名古屋史談會誌二ノ一

名古屋史談會

○會員 動 靜

○入 會

東京市芝區白金臺町下屋敷、寶藏寺内

山本 辰一

(右紹介者 相田二郎)

京都市田中百萬遍了蓮院

伊藤 祐晃

(右紹介者 岩橋小彌太)

東京市小石川區表町一〇九、明倫館

古會部 紀

(右紹介者 高柳高壽)